

業務部速報



No. 43

発行 21. 1. 27

JR東労組 業務部

「新幹線車両センターの新設について」の提案を受ける!

本日、JR東労組本部は、新幹線統括本部より「新幹線車両センターの新設について」の提案を受けました。新幹線車両検修職場における新幹線特有の技術に磨きをかけるため、秋田新幹線車両センターを新設すると内容が示されました。

1. 実施事項 秋田新幹線車両センターを新設し、現在、秋田支社秋田車両センターが担当している新幹線車両に関する業務を移管する。なお、秋田新幹線車両センターは新幹線統括本部所属とする。

2. 設置場所 秋田支社秋田車両センター総合事務所内

3. 実施期日 2021年4月1日

長	助役	車両	計
1	3	25	29

4. 秋田新幹線車両センターの標準数

5. スケジュール

内容	2020年度			2021年度
	1月	2月	3月	4月
	▽ 提案			▽ 発足
		発足準備等		

6. その他 秋田支社秋田車両センターの在来線車両に関する業務については、秋田支社秋田総合車両センター南秋田センター（新設）が担当する。

議論の特徴点

- ・新幹線統括本部設置時点より検討してきており、秋田支社の業務体制など準備が整った。
- ・統括本部設置の目的である「継続的な人材育成」「特有技術の維持向上」「迅速な意思決定」を目指していくこととなる。
- ・配属については社員一人ひとりの育成を考え、本人希望を勘案して行う。現行担当している業務に従事している社員が中心になると考えている。
- ・企画グループ（助役1、車両職数名）を設置し、総務、外注、検修指導等、事務業務も担当する。様々な仕事を経験して成長する場としたい。（在来・新幹線共通事務の所掌は調整中）
- ・出向については現時点で考えていない。希望把握等は秋田支社で計画する。
- ・新幹線部門と在来線部門に分離することで業務に大きな変更はない。
- ・車両修繕予算を支社経由ではなく、直接措置することができるようになる。
- ・検査設備等の財産区分については、新幹線設備は統括本部となる。共通設備は精査していく。
- ・異常時対応は担当個所での対応が基本となる。なお、在来・新幹線の双方に対応することはある。
- ・当直助役、当直補助は秋田総合車両センターの所属で、新幹線車セの当直業務を兼務する。

**働き方が変化する中においても安全を第一に、
働きがいある職場をつくるため職場から議論をつくり出そう!**